



# たしろ 研 通信

発行者：豊田市議会議員 たしろ 研  
TEL : 0565-88-1468  
FAX : 0565-88-6280  
E-mail : ken\_tashiro0828@yahoo.co.jp

朝夕やっと涼しくなり、過ごしやすくなりました。温度差はありますが体調は大丈夫でしょうか。これから徐々に寒くなります。お体ご自愛願います。  
日頃は公明党にご支援いただき大変に有り難うございます。  
私も議員として皆様に支えられ1年6か月が過ぎました。今後さらに頑張ってまいりますので宜しくお願い致します。

## 9月議会が開催されました。

H24年度豊田市議会9月度定例会が9月7日（金）～10月1日（月）までの日程で開催され「豊田市基金条例の一部を改正する条例」をはじめ、（仮称）豊田市立第2浄水小学校新築工事や豊田市立寿恵野こども園園舎改築工事等の「工事請負契約の締結」、豊田市美術館収蔵用美術品を購入する等の「財産の取得」に関する議案など、執行部から提出された議案第92号から107号まで慎重に審議いたしました。また、9月議会は決算議会といわれる通り、平成23年度の豊田市一般会計や豊田市介護保険特別会計をはじめとする各特別会計、豊田市水道事業会計の決算案件も上程されていますので、23年度予算が住民福祉の向上のため十分に執行されたかどうかについても厳正に審査を致しました。

## 6月に続き5回目の一般質問を行いました。



## 質問内容

「高齢化施策」について質問致しました。

我が国の人口構造の高齢化は極めて急速に進んでおり、遠からず世界に例を見ない水準の高齢社会が到来するものと見込まれているが、高齢化の進展の速度に比べて国民の意識や社会のシステムの対応は遅れている。早急に対応すべき課題は多岐にわたるが、残されている時間は極めて少ない。このような事態に対処して、国民一人一人が生涯にわたって真に幸福を享受できる高齢社会を築き上げていくためには、雇用、年金、医療、福祉、教育、社会参加、生活環境等に係る社会のシステムが高齢社会にふさわしいものとなるよう、不断に見直し、適切なものとしていく必要があり、そのためには、国及び地方公共団体はもとより、企業、地域社会、家庭及び個人が相互に協力しながらそれぞれの役割を積極的に果たしていくことが必要である。

## 質問の内容と答弁の抜粋

Q：今後高齢化が更に進み、通所介護施設で利用者が増え定員を超えて希望者があった場合、市はどのような対応をするのか？

A：ケアマネージャーが、周辺地域の民間事業者を含めて利用調整を行う。さらには施設のスペースの余裕のあるところは定員を増やす検討をする。

Q：市民文化会館大ホールを使用の際、休憩時にトイレを利用するが女性のトイレがいつも混んでいるので何とかしてほしいと市民の声がありトイレの現状について聞いた。

A：洋式は7、和式は34と洋式の少ない現状報告あり

Q：洋式便座を増やす考えについてお聞きした。

A：快適性や利便性を求める利用者の声も多くあることから、今後は、機能維持の改修工事とあわせ前向きに考えていきたいと思っている。

是非とも洋式便座を増やしていただけるよう要望を致しました。

全体では14項目について質問をさせて頂きました。今後も皆様が安心安全に過ごしていただけますように質問をしてみたいです。

### 法律相談を実施！次回の相談日は…

日時：11月13日（火）18:30～20:30

日時：12月11日（火）18:30～20:30

会場：産業文化センター 4F

連絡先：豊田市役所 TEL：31-1212 公明党議員控



お申込みは  
お早めに！